

湘南にのみや 議会だより



平和と友情のシンボル「ガラスのうさぎ像」
二宮町議会は平和都市宣言を発した町として「ロシア
によるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全会一致
で可決（本紙10ページ）



©東京ハイジ/二宮町



議会のHPはこちら

第1回定例会（2/18～3/17）

- ◆ 令和4年度予算（概要）……2～4
- ◆ 賛否一覧表 ……………4
- ◆ 予算討論 ……………5
- ◆ 予算総括質疑 ……………6～7
- ◆ 補正予算・臨時会 ……………8
- ◆ 人事・陳情・条例改正 ……………9
- ◆ 一般質問（3名）………10～11
- ◆ 常任委員会の継続調査 ……………12

令和4年度一般会計予算修正可決

予算審査特別委員会で一般会計は
賛成1：反対5で否決された。

本会議では、議員の修正案が提出
され賛成7：反対5で修正可決された。

議員10名が予算に対する討論を
行った。（5ページに掲載）

令和4年度予算

令和4年度の一般会計予算は、予算審議過程で議論のあった、（仮称）多目的施設整備工事に係る経費（継続費計1億4,080万円、4年度分2,816万円）を削除する修正案が提出され、採決の結果、修正された予算が可決された。

予算概要

単位：千円（未満切り捨て）

	4年度予算	3年度予算	増減比率	2年度決算	決算との差額
一般会計	8,861,840	8,219,000	108%	11,481,218	△2,619,378
（内、町民税歳入）	1,747,983	1,766,805	99%	1,847,833	△99,850

※2年度決算はコロナウイルス対策の予算補助が国から入り期中で増加している。

修正案の提案理由

予算否決となり暫定予算となってしまうとは、防災関連等、町民生活へ影響を及ぼすことが懸念され、修正動議を提出

多目的施設整備は、町民センターの代替で、地の利もよく多くの利用が見込まれるが、急な提案であり、町の外部団体である「社会福祉協議会」の入居を決めている点や、庁舎整備が迷走しているなか財政計画も示されないなど、質問が多岐に渡り目的や計画の再考が必要と判断。
（提出者代表 二宮）

※暫定予算とは：予算が否決等となった場合に、予算が成立するまでの期間の「つなぎ」として編成されるもので、最低限の経費分のみの内容となる。



地域集会施設のあり方の検討が進むなか、令和4年度は耐震性の問題で閉鎖中の富士見が丘老人憩いの家を田代公園内へ移転するための予算が計上された。



スマホアプリ
『災害情報』
5月1日開始

「防災情報」「避難所確認」「気象情報」「被害想定区域」全国どこからでも二宮町の防災情報が入手できます。ぜひダウンロードを！
*広報にのみや5月号を参照ください。

(修正案賛成7・反対5・原案賛成0)

予算審査のため、設置される予算審査特別委員会では、各課の予算案を審議していくなかで、議員から様々な要望が出される。それらの要望は、特別委員会の委員によってまとめられる。町側は、「審査意見」にそって努力することになる。

～町へ提出した審査意見～

- 1、多目的施設整備工事は、整備の目的や計画を明確に示されたい。
- 2、第3次環境基本計画は、明確な目標設定をし、実効性のある計画とされたい。
- 3、コミュニティバスは、車種の検討も含め料金やルートなど利用者の利便性向上を再考されたい。
- 4、ホームページリニューアルは、利便性向上等の効果を明確に示したうえで実施されたい。
- 5、令和5年度より予定されている施設分離型の小中一貫教育は、子どもたちを第一に考え推進されたい。
- 6、すべての建設事業は、町民にわかりやすい、財政計画を早期に示されたい。
- 7、子どもたちの食の貧困に対する手立てを講じられたい。
- 8、防犯対策の周知および危険個所の点検により、防犯灯の増設をされたい。
- 9、地域生涯学習振興事業補助金は、公平性を重要視し、説明と協議の場を設定されたい。

町債残高（町負債額）

一般会計

70億3,568万円

（※内、約6割は「臨時財政対策債」で国から補填される）

下水道特別会計

47億9,541万円

特別会計予算について

単位:千円(未満切り捨て)

予算科目	本年度予算	昨年度予算	前年対比伸率
国民健康保険	2,958,197	3,095,813	-4.4%
後期高齢者医療	1,009,298	991,671	1.8%
介護保険	2,824,145	2,724,379	3.7%
下水道事業	947,347	896,225	5.7%
特別会計合計	7,738,987	7,708,088	0.4%

国民健康保険はコロナ禍による受診控えから減少しており、後期高齢者医療および介護保険歳出は4年前と比較し13%強増加しています。下水道事業については2.2%減少しています。

下水道事業債 償還予定額 534,751千円 4年度末残4,795,406千円(予定)

後期高齢者医療保険料は令和4年度～5年度で見直しが進められています

各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

	二宮 せつこ	羽根 かほる	松崎 健	野地 洋正	杉崎 俊雄	坂本 孝也	小笠 原陶子	渡辺 訓任	大沼 英樹	前田 憲一郎	根岸 ゆき子	一石 洋子	善波 宣雄	結果
議員提出決議案（左は議案番号）														
1 ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議案について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案（左は議案番号）														
1 二宮町議会委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出議案名（左は議案番号）														
1 専決処分の承認を求めることについて（臨時会議案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2 令和3年度二宮町一般会計補正予算（第11号）（臨時会議案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3 二宮町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
4 二宮町部設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
5 特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6 二宮町小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7 二宮町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8 二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9 町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10 令和3年度二宮町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11 令和3年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12 令和3年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13 令和3年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14 令和3年度二宮町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15 令和4年度二宮町一般会計予算	○	○	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	修正可決
16 令和4年度二宮町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17 令和4年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18 令和4年度二宮町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19 令和4年度二宮町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳 情 名（左は陳情番号）														
1 国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
2 神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
3 東京大学果樹園跡地内近代建築物の破損に対する応急措置を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。

※善波議長は採決に加わりません。

令和4年度 予算

修正案 に対して 10名の議員が 討論

反対！

2月に策定したばかりの「新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」で初めて示された「多目的施設」を、公共施設再配置計画の見直しに含めず、総額1億4,080万円を投じ整備を強行。加えて第三者による再配置検討委員会の扱いはぞんざい。プール、小児病院跡地…反省が見られない課題先送り予算は認められない。(野地)

多目的施設は新庁舎計画迷走の結果。地方創生推進交付金による事業に求められる自立性が確立できなかったばかりか、その悪影響に対する認識不足。町長は、道路維持管理を巡る人件費無駄遣いと民意無視の工事、過去の答弁を反故にする予算立て(交通弱者の吾妻山送迎事業)、正当化のための理論武装に終始する答弁を容認か。(松崎)

子ども医療費助成の所得制限撤廃など、町民のくらし・安全を守る様々な施策を評価。一方、①新庁舎基本設計予算がなく、防災拠点や発災時の業務回復体制の整備が遅れる。②学校統廃合を念頭に、問題がある施設分離型小中一貫教育校設置を進める。③個人情報利用促進を狙いとしたデジタル化を最優先で進める3点は、大問題。(渡辺)

町長提出議案が全員反対になるということは提出者である行政の怠慢で非常に恥ずかしいこと。練りに練って作成した予算案がなぜこのような結果になるのか。

一部の委員も個人の主張した多数の指摘事項を覆すのはやめるべきだ。1点の指摘事項のみの動議に多数で賛成し修正案を可決させる手法も醜いやり方だ。(坂本)

ホームページ更新990万円は工夫や費用対効果が不十分。通常予算で補助金を穴埋めする庁舎整備は現納税者への極端な負担偏重である。町民生活の見守りは町の仕事であり民生委員のなり手不足は待遇改善が必要。予算審査特別委員会では1対5の否決。

不適切なマスク着用の職員を議場で見かけ、感染予防は徹底されていない。(大沼)

賛成！

施設建設、修繕費が多い予算。集会施設の方方向性は、町の明確な判断基準が必要。大規模な建設事業は、財政の見通しを併せて示すべき。子育て世帯への支援策は、小児医療費の所得制限撤廃のみ。町民の声を聴き、的確な支援が必要。原案賛成であったが、多目的施設の建設に反対多数。町民の声と判断し、修正案に賛成。(羽根)

修正したい点は他にも多々あるが、(仮称)多目的施設整備工事をする土地は普通財産で購入しており、行政目的で使用するものではない。目的外使用はありえない。行政財産を建設するためには手続きを踏まねばならず、この建物の目的も行政財産には値しない。公共施設再配置計画の見直しに足枷となる。

(前田)

総括質疑で町長の意欲を確認。貴重な新規事業含む予算委員会否決に建設的議論無く修正案可決を求める。小さな町に2元対立議会の費用対効果を疑う。議会は町民に最善のセカンドオピニオンを示し、信頼、連携して創る力を学び、町は新型コロナウイルスワクチン副反応救済の正念場と激震する社会に備え、県と国に賢明な折衝を。(一石)

小児医療費の所得制限撤廃は良い施策だ。老朽化した地域集会施設更新は地域コミュニティ醸成の要として評価。島国日本は建設資材や人件費の高騰が進み、事業が遅れば予算が増える。速やかに計画にのっとり進めよ。

予算審査特別委員会は1対5と賛成少数で否決。2元代表制の町政運営を町長はじめ執行者が議員ともしっかり向き合い情報共有を。

(小笠原)

公共施設再配置計画が改正されるが、財政見通しがどんどんわからなくなっていく。新庁舎によって学校施設が影響を受けているのではないかと。温水プールなども含めて町の考えを整理したものを明らかにして欲しい。多目的施設は、端を発する新庁舎に絡み、新庁舎・駅前周辺計画の一部なので保留を望む。

(根岸)

4名が町長施政方針・予算



無所属
大沼 英樹

まこと
真を見極めた実態に即した
町事業を求めたい

Q 新庁舎は骨折計画、30億もの事業費50%の積み立てに賛同は得られるか。

A 年9千万積み立てに理解いただきたい。

Q 役場内はクラスター感染ではないか、業務加重と緊急時の対策は大丈夫か。

A 職員に周知の徹底をしている。計画済みで心配いただく必要はない。

Q 神奈川は接種率が全国45位、二宮町は県内最下位、どう考えるか。

A 新聞は順位をつけたがるが着実に進めたい。

Q 生活困窮の借入が320件。国個人資産は増加し格差があり困窮者に対策は。

A 奇抜なことではなく冷静に対策する。

Q 高齢者の為にも情報が届くシステムは考えられるか、町民や議会とメール利用を業務で行うつもりがあるか。

A 生活情報が届くアプリの研究をしたい、早急に業務の電子活用を進めたい。

Q 議会は遊休荒廃地の有効活用に農道整備を求めているが次に農産物が売れる環境が必要だと思いが取り組みはいかがか。

A 町の直売所もあるし今後整えていきたい。

Q 消防団の報酬増は総務省の示唆だが半減する運営費はコロナ自粛であり待遇改善と言えるか、また増額要望には対応するか。

A 消防団からの提案であり、必要な額は交付していく。

Q 東海大学病院撤退に協議や交渉をしてきたか。産婦人科の数は半減しているが働きかけはどの様か。

A 今、要望書を作っている。町村会を通じ秦野日赤の産科存続を要望している。



不安定をいつまで
続けるのか審判は
町民です



神奈川ネットワーク運動
一石 洋子

公民連携、新教育チャレンジ
と気候非常事態宣言を！

Q 重層的な課題を抱え苦しむ子どもたちの早期の課題解決に校内の居場所にスクールソーシャルワーカー配置で厚労省の重層的な相談支援は。

A 教育、福祉の連携はある。寄り添い、連携を強化、居場所の教育的位置づけ明確に具体化する。社会全体で子どもを見守る体制を創る。必要なところに予算配分する。

Q 一色小学校に個別最適に挑戦する新しい学校を創立し、学区を廃止、転入も見込む広島県や長野県で実践されるイエナプラン等先進の教育体制の実践を神奈川県、公社、文科省と折衝を。

A 未来を見据えた二宮らしい教育を分離型の小中一貫の上に研究できる。星山先生の発達支援講座と連携、さらに子どもたちが社会の中で個別最適に生きるすべをつかみ取り育つ事を行政が支える形を共に一から考え創る。

Q 総合計画や環境基本計画策定は公民連携を町ぐるみで学ぶ機会とし、激動の時代に町内の専門家の智慧や力を集め行政と協働する仕組みを推進、公契約電力会社を変更、気候非常事態宣言を。

A 総合計画ワークショップに多世代から貴重な意見を頂いた。専門的な最先端の公民連携のプロセスを学ぶ場を大切に共に考えまちづくりを進める。環境基本計画改定に合わせ気候非常事態宣言を発する。山林環境を守る研究も使命。

Q 子宮頸がんワクチン対象者が全国接種者全員調査結果を閲覧、接種勧奨中止の経緯のリーフレット明記、新型コロナワクチン副反応被害救済には診療や生活の支障の記録必須と周知を。

A 閲覧可能。副反応リスクに係る書籍を図書館に配架。HPリンクで情報を解り易く示す。町は県や国に数件の救済申請を繋げている。



幸せ度、政治、経済世界トップの
デンマークのギャップイヤーの教育体系

案について問う

総括質疑

※記事は本人の
原稿に基づいた
ものです。



無所属
野地 洋正

『課題先延ばし予算？』
施設再配置計画に疑問！

Q 庁舎整備基金9千万円に対し公共施設整備、災害対策基金等はわずか50万円。計画は。

A 庁舎整備基金は7億6千万円を目標とし、令和6年度まで毎年9千万円を積み立てる。公共施設整備基金は取り崩しや積み立てを繰り返すため余剰金状況を踏まえ対応する。災害対策基金はほぼ目標額であり維持に努める。

Q 施設分離型小中一貫教育は「2つのグループを設置し、学校教育目標を統一」としながら「5校各校の特色を生かす」と相反すると思われるが真意は。

A 9年間の一貫性を持った目標を持つ一方、各地域の特色は大切にしていくなすべきとの考えからの表現。行事等の合同開催など出来るところから検討を進める。

Q 「新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」が公共施設再配置計画にどうつながるか。1億4千万円を投じ「多目的施設」を新築し、面積減を目指す中、あえて増やす理由は。

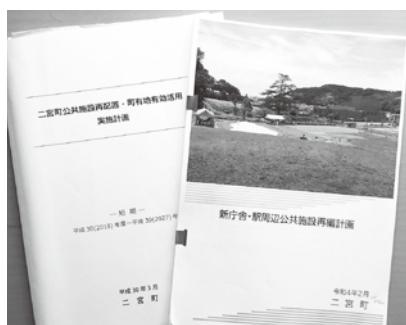
A 再編計画は見直し予定の再配置実施計画に繋げる。予定地の果樹公園土地取得交渉は4年度取り組む。「多目的施設」は、暫定的に社会福祉協議会、元町南通いの場として活用。将来的には貸会館として利用ができるよう整備する。

Q 令和3年度中に示すとしていた小児病院跡地、温水プールの方向性を先延ばしした理由は。

A 病院跡地の用途転用には慎重な検討が必要と分かった。温水プールの老朽化は想像以上であり、3プールを改めて検討することとした。

Q 町長退職金廃止公約についての今後は。

A 県市町村職員退職手当組合の条例改正を引き続き求める。負担金減は町民メリットとなる。



「新庁舎・駅周辺
公共施設再編計画」
皆さんで存じ？



無所属
羽根かほる

施政方針に沿い、
令和4年度のまちづくりを問う

Q 町長の学校統合についての考えは。

A 令和5年度から施設一体型の小中一貫教育校を始める予定。小中一貫教育の効果を高め、施設の老朽化や一色小学校の単級化などの課題に対応するためにも小中学校を統合し、施設一体型に移行することが必要。

Q 観光協会の組織力強化と観光戦略とは。

A 現状の分析と課題の整理を行い、観光協会の運営の健全化を図るための検討をする。町が目指す観光振興の方向性を示し、観光協会の検討も含め、計画を振興推進するための取り組みを二宮町観光戦略として位置づける。令和5年度からの5か年の計画とし、観光戦略の策定目的を示し、観光客数などの目標値を設定。観光施策とPR活動の推進などの取り組みと観光協会、町民や商工会、民間事業者の役割を記載する。

Q 新庁舎、駅周辺公共施設再編計画を町民はどう受け止めていると考えるか。総事業費は。

A 賛成の声、反対の声、双方に十分に耳を傾けることが必要だが、声なき多数派の方々の真意がどこにあるのかも読み取りながら、計画を前に進める必要がある。事業費は約18億から24億円と示しているが、具体的な総事業費は、基本設計を行わなければ不可能。

Q 町長の任期は11月まで。次の三期目もあると考え、予算編成をしたのか。

A 残された町政課題がある。着実に解決に導き、町の発展と町民の幸せのために、次の世代に引き継いでいくまちづくりを全力で進めたい。三期目にチャレンジしたいと現時点では考えている。



老朽化が進む、二宮小学校体育館。
小中一貫教育校は施設一体型へ。

1月18日第1回臨時議会

(議案第1号) 全会一致で可決
18歳以下対象子育て世帯への臨時特別給付金、
10万円の一括給付。

【歳入】

○国庫補助金 (1億6,745万円)

【歳出】

○児童福祉費補助金 (1億6,745万円)

(議案第2号) 全会一致で可決
住民税非課税世帯への臨時特別給付金、
10万円の一括給付

【歳入】

○国庫補助金 (5億1,989万円)

【歳出】

○住民税非課税世帯臨時特別給付事業
(5億1,989万円)

国民健康保険特別会計

(議案第11号) 全会一致で可決
9,025万4千円を減額し、総額30億2,057万
1千円とした。コロナ禍による受診控えと
思われる。

【歳入】

○県支出金の減額 (△1億67万4千円)

○繰入金 (955万1千円)

【歳出】

○保険給付費の減額 (△9千713万円)

○保健事業費の減額 (△439万3千円)

○諸支出金 (286万9千円)

○予備費 (840万円)

後期高齢者医療特別会計

(議案第12号) 全会一致で可決
380万5千円を減額し、総額9億4,215万8
千円とした。

【歳入】

○雑入の減額 (△380万5千円)

【歳出】

○健康保持増進事業費の減額 (△380万5千円)

2月25日第1回定例会

(議案第10号) 全会一致で可決
2,125万4千円を減額し、主なものは次のとおり。

【歳入】

○地方交付税等 (2億5,272万円)

○臨時財政対策債 (△1億8,050万円)

【歳出】

○小中学校の感染対策などの支援 (630万円)

○保育士の処遇改善 (255万円)

○町民運動場斜面崩落個所の復旧 (1,170万円)

○茶屋老人憩の家エアコン更新 (120万円)

○積立の増額 (1億4,561万円)

○事業支出の確定で減額 (△1億9千万円)

介護保険特別会計

(議案第13号) 全会一致で可決
4,257万3千円を減額し、
総額27億6,102万8千円とした。
コロナ禍での利用控えと思われる。

【歳入】

○国庫支出金の減額 (△736万4千円)

○支払基金交付金の減額 (△1,101万6千円)

○県負担金の減額 (△764万5千円)

○他会計繰入金の減額 (△628万8千円)

○基金繰入金の減額 (△1,026万円)

【歳出】

○保険給付費の減額 (△4,711万9千円)

○地域支援事業費 (577万9千円)

下水道事業特別会計

(議案第14号) 全会一致で可決
528万8千円を減額し、総額9億1,272万9千
円とした。

事業費確定により財源の減額となった。

【歳入】

○負担金 (162万円)

○他会計繰入金の減額 (△696万8千円)

【歳出】

○下水道総務費 (157万5千円)

○公債費の減額 (△182万1千円)

○予備費の減額 (△504万2千円)



町民運動場下部の斜面崩落個所

条 例 改 正

○個人情報保護条例の一部改正

「個人情報保護制度を個人情報の保護に関する法律」に係る改正による条文変更であり実務は変わらない。

反：マイナンバーと紐付け等、個人情報保護の衰退につながる危険あり。（渡辺）
（議案第3号）賛成11：反対1で可決

○部設置条例の一部改正

高度化かつ複雑化する社会課題に対応するために政策総務部を2部に分掌し、新たに「デジタル推進室」を設置。

- ・政策部（4課6班）公共施設再編、企画政策、町民活動、広報広聴、契約、財政財産等
- ・総務部（4課7班）デジタル推進、防災防犯、戸籍、税務、職員人事福利厚生等

反：人材の確保が難しく、個人情報保護の観点から拙速に進める必要はない。（渡辺）
（議案第4号）賛成11：反対1で可決

○特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部改正

町職員で構成されていた鳥獣被害対策実施隊に、狩猟免許を取得する二宮町猟友会から非常勤職員として2名を加え、対策の強化を図る。年額報酬は一人6,000円で国の交付金をあてる。

（議案第5号）全会一致で可決

○小児の医療費助成に関する条例の一部改正

小児の健全育成のさらなる支援と福祉の増進を図るため、小学生・中学生に設けている所得制限を撤廃。令和4年10月1日より実施。

賛：小児医療費助成の所得制限をなくすことがようやく実現。多くの子育て世代の方々の思いが形になったものだ。（渡辺）
（議案第6号）全会一致で可決

○国民健康保険税条例の一部改正

全世代対応型の社会保障制度を構築するための関係政令の整備等に関する政令の施行に伴い、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、未就学児の被保険者均等割額の減額を行うもの。

（議案第7号）全会一致で可決

○消防団員等公務災害補償条例の一部改正

国民年金等の一部法改正に伴い、年金担保貸付事業等が廃止されたことによる。

（議案第8号）全会一致で可決

監査委員の選任同意

代表監査委員、議会選出監査委員の3月31日付辞職に伴い、監査委員の選任に同意。

代表監査より、議選監査の言動について遺憾とし、対応を求める要望書が議長宛に提出された。議会として協議、議選監査委員から町長宛て辞職願が提出され承認。

議選監査委員の在り方は国の法改正があったことから議会として今後、二宮町監査基準含めて調査、研究対象とする。

・代表監査委員 間中 歳（75歳）
川勾在住 任期4年



・議選監査委員 前田 憲一郎
（議案第20、21号）全会一致で可決

陳 情 審 査

陳情第1、2号

『国、神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情』

神奈川私学助成をすすめる会代表 長谷川正利
高校無償化に制度改正が進むも耐震施設整備費負担等今だ保護者負担残り、不安を持つ家庭、子どもたちの困難の状況から更なる助成拡充を求めるもの

反：国や県はできる限り最大限の助成を進めている。私学側は策を講じていない。（前田）

賛：公立、私立等しく支えるべきで差は依然大きく生徒、保護者からも声上がる。（渡邊）

賛：多様性、個性化への投資、困難を抱える若者へのセーフティネットに資する。（一石）
賛成4：反対8で不採択

陳情第3号

『東京大学果樹園跡地内近代建築物群の破損に対する応急措置を求める陳情』

まちづくり工房「しお風」

二宮遊学の衆 代表 神保智子

東大果樹園跡地の地方創生の文化的価値を訴え歴史的建造物の劣化が激しいことから、地方創生に向けた運用の係る計画の早期検討と建物破損への対応を求めるもの

反：令和9年までの社会実験の位置づけの検討期間を尊重。町も参画する協議会として建て替え保全も視野に価値の精査、提案を待ちたい。（一石）

賛：二宮町の文化的シンボルとして応急措置必要。町、協議会は跡地活用計画に位置づけを（渡邊）

賛：子どもへの予算を最優先、最低限の費用で実施すべき（小笠原）

賛：町有地の建物保全の役割は町の責任で有効活用の再検討を求む。（羽根）

賛成11：反対1で採択

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

世界を震撼させた武力行為に非難 全会一致により可決！

ロシアは2月24日、一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるだけでなく、ウクライナ全土に侵攻した。多くの人々の尊い命と平和な暮らしが理不尽に奪われている事態は、断じて、看過できない。これは、ウクライナの主権・領土を侵すもので、国連憲章を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固糾弾する。ロシアは、ただちに国際秩序を乱す軍事行動をやめ、撤退すべきである。プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せている。核兵器で世界の諸国を威嚇するだけに留まらず、原子力発電所に対して攻撃を行ったことは、唯一の戦争被爆国である日本国民には耐えがたいものである。さらに、二宮町は平和都市宣言で核三原則と平和という理想に向かっての努力をうたっており、今回のロシアによる行為は許されるものではなく、見過ごすことはできない。二宮町議会は、ロシア国民を含む国際社会が、ウクライナ侵略反対の一点で団結し、世界平和のために命を懸けたすべての先達の遺志を固く受け継ぎ、一日も早く収束に向かうことを強く求める。以上、決議する。

令和4年3月17日 神奈川県中郡二宮町議会

一般質問

記事は質問者から提出された
原稿を基に作成しています。



日本共産党
渡辺 訓任

問

- ① コロナ対策・大磯病院の事業承継は
② 地域の二酸化炭素排出量削減計画を

答

- ① 切れ目ない医療の確保に取り組む
② 実践に向け第3次環境計画に盛り込む

Q コロナ感染防止に関して、検査の受け方、自宅療養や自主療養の違いなど、複雑でわかりにくい。

A 自宅療養者は、病状等の基準を超えると神奈川モデルによる医療機関の支援を得る。自主療養者に対しては食料などの支援もなく、町からの支援提供のための自主療養者の把握について、県と調整中だ。

Q イベントや会議の開催、施設利用について、条件に一貫性がないとの指摘があるがどう考えるか。

A まん延防止措置期間中は、主催者の判断で、県のガイドラインに従ってのイベント開催、施設利用をお願いしている。会議についてもオンラインなどの活用も進める。緊急事態宣言が出れば別途協議する。

Q 東海大大磯病院の徳州会への承継について、多くの方が心配をしている。町はどう考えているのか。

A 切れ目のない事業承継と、診療に産科復活などの地元要望が反映されるよう、関係に働きかける。平塚市、大磯町とともに要望書を準備中だ。

■環境保全の取り組みについて■

Q ごみ処理量の削減は順調に進んでいるか。一絞りではなく、濡らさないような指導が重要では。

A 周辺自治体より進むものの、計画値よりやや上回る。水分や生ゴミ以上に、フードロスを含め、抜本的なごみ減量策が必要。

Q CO₂削減に関し政府目標にあった目標と地域対象の実施計画を立てよ。

A 第3次環境計画に盛り込み、実践を強める。



シンクの上に乗せるので
濡れない生ゴミ入れ

一般質問

記事は質問者から提出された
原稿を基に作成しています。



無所属

小笠原陶子

問

高齢者のデジタル活用推進施策は
シルバー緊急通報システム設置を増やせ

答

スマホ講座の増や相談窓口検討する
通報システム設置の普及増をめざす

Q 高齢者はデジタル活用に不安のある方が多い。町は2月9日にシニア向けスマホ教室を実施し好評だった。もっと回数を増やし、各地域に出向いて実施してほしい。

A 今年前半の予定では、各小学校区3区、3回ずつということで、計9回を今検討中。

Q 高齢単身世帯が多い。重要なのは、日常的に身近なところで簡単なことを教えてほしい。

A 町には百合が丘にサービスプラザや、ラディアンにサービスコーナーがある。そこには、時間の制限はあるが職員が常駐しているので、今後、デジタルの推進と同時に、その窓口でもそういう相談を伺い、簡単な説明になってしまうかもしれないが、ふだん使いの説明はできるようなサービスを考えていく。

Q シルバー緊急通報システムは、令和4年度から固定電話や携帯電話を持っていない世帯にも設置でき、画期的に改善される。民生委員の負担軽減に多に役立つ文明の利器だ。

町には災害時の要支援者は約900人いる。令和3年度は約180台が設置されているが、ニーズがあれば予算以上に大幅に増やし補正を組んでもやってほしいかどうか。

A あり得る。その時は補正の審議を願う。

Q ボランティアの底上げに傾聴講座実施は。

A 過去の経緯もあり社協と連携し検討する。



使いやすい緊急通報システム



無所属

根岸ゆき子

問

20年間5校は継続されるのか
公共施設再配置計画への反映はどうか

答

段階を踏んで一体型の小中一貫教育校
設置を進める。数年間の研究会を持つ

Q 12月議会の質問で、令和22年までに町内の小中学校を一校に統合、と答弁された。1,250人規模となるが、大規模なので2校案程度が適正ではないか。

A 人口動態を考え1,300人であれば一つ作る見通しを持てた。学校統合の手順には様々な話し合いも計画も必要。小中一貫の中身は十分検討してきたのでこのまま進むが、研究会を立ち上げて子どもたちのための魅力ある教育環境の1校をどうやったらできるのか考えたい。二中・二小で一つ、西中・山西小・一色小で一つ、という2つのグループで始めて段階を踏む。

Q 研究会のイメージはどのようなものか。

A 教育委員会を中心にして必要に応じメンバーを招聘。予算、財政、場所の件など町長をお呼びして相談することもあると思う。

Q 2グループで分離型小中一貫教育を始めるが、日常的交流にならず今の体制では限界があるのでは。

A 資質能力を伸ばす仕組みづくりはしている。乗り入れ授業は主体に考えていないがオンラインのつながりはできる。児童生徒の交流活動は小中の連携が図れるため学校主導によるものを増やしたい。

Q 単級化の課題もある。先日の町長総括答弁では一体型の設置を早める印象だが今日は勉強するとの答弁。公共施設再配置計画に盛り込まれるのか。

A 今日の町長答弁のとおり研究会で数年間はかかる。結論が出れば当然計画に反映する作業は必要だ。



計画は案で3年が経過。
ようやく研究会発足で前進。

各委員会の動き =活動報告=

総務建設経済常任委員会

「遊休荒廃地の有効活用」

令和2年3月より調査を進め、今議会に提言書としてまとめました。

＜経緯＞

昨今、町中に出没するイノシシ等の有害鳥獣は農地を荒し高齢化と共に減少している農業従事者、補助者の労働意欲に多大な影響を与えています。

＜提言書概要＞

- ①農道の新設・拡幅・駐車場の確保
 - ②環境衛生センター交差点付近の新設車道整備
 - ③遊休荒廃地及び旧園芸試験場第2圃場の有効活用、さらに再整備農道の拡幅
- 上記をさらに長期継続計画とすることを求める。

＝提言書の詳細は町HPでご確認ください＝

＜今後の取り組み＞

今回は中里（東大果樹園跡地北側）の峯山を調査対象にしましたが、他の農地でも「荒れている、困っている」と声が上がっています。

新規農業従事希望者も確認しており、貸農地候補や栽培果実の販路調査など今後も継続して調査を進めてまいります。

また、昨今町民の皆様が心配されている集会所を含む公共施設の再編等についても意見交換を進めていきます。



自然の恵みが農業者と町民の笑顔をつなぐ

教育福祉常任委員会

「二宮町の資源を生かした子どもの育成環境について」

近年、不登校の児童生徒は増えていることから、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（SSW）、教育委員会へのヒアリングを実施しました。SSWの配置は中学校に重きが置かれているため小学校への手厚い配慮が必要です。

不登校対応の町内資源はいくつかあるものの、公立学校として手立てを増やす事も肝要です。学校内フリースクール等の設置はすでにいくつか先進の事例があり、横浜市山内小学校が推進する事例を情報収集しました。今後も町内資源の活用、公民連携、一色小学校内のフリースペース作りの支援体制などの研究を進めます。



今年も、コロナ感染拡大防止のため、シェア二宮＝予算議会の報告＝はYouTubeで配信します。配信開始は4月25日の予定。議会審議の様子などを少しでも感じていただければと思います。二宮町公式チャンネルでご覧下さい。



二宮町公式YouTube

編
集
後
記

今議会は、ロシアのウクライナ侵攻のニュースを怒りと悲しみで視聴。議会では決議文を作成し全員賛成で提出。2月開始の予算議会中、3月16日深夜に福島県沖でM7.4の地震が発生し東北に大きな被害が出て、町の防災体制が万全か再確認を要す。憂えるばかりの中にも遅い春は着実に進み、議会だより作成中に桜が開花。読者のご意見待ってます。（小笠原）

◎議会だより編集委員

委員長	前田憲一郎
副委員長	小笠原陶子
委員	野地 洋正
	坂本 孝也
	大沼 英樹
	一石 洋子



議会へのメール